

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2021年 2月 10日

事業所名 放課後等デイサービスASIS

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	87.5%	12.5%	コロナの時期、密になりそうな場合は、他の部屋を借りるなどして対応している。 利用予定者が多いときは、正直、誰が帰って誰がいるのか見落としかけることがあります。	来所した時、退室するときの挨拶をしっかりとるよう、児童への声かけを徹底していきます。
	2	職員の配置数は適切である	100.0%	0.0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	87.5%	12.5%	使ったカード類も1枚1枚消毒するなど、徹底して衛生管理に努めている。 毎日清掃・消毒を徹底している。 現在対象となる児童はいないが、車椅子を使用している児童には、入居しているビルの入り口やトイレは、使いづらい。 バリアフリー化はされていないが、車椅子の利用者はいないので、今の環境で十分だと思う。 毎日、清掃と消毒を徹底している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%	その日出勤の職員は参加できているが、休みの職員にもよりしっかりと共有できるようなルール作りもしていきたい。 毎日のミーティングで目標設定、その後の振り返りを行えている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100.0%	0.0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50.0%	50.0%	区役所の方に来ていただいたときに理念や活動についてお話ししたりした。ただ、事業所の評価、というところまではいっていない。 第三者が何をさすのか分かりません。 他事業所、相談支援と連絡を取り合って支援に反映している。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	87.5%	12.5%	研修に行った職員から、他の職員への伝達も行っている。	コロナで予定が狂ったりはしましたが、年間計画を見直し、確実に研修を実行できるようにしていきます。 職員には、希望の外部研修にも参加できる機会は取っています。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	事前に時間を取って、児童からもニーズをヒアリングしている。子どもにも聞き取りを行い、子どもの状況と課題に合わせて支援計画の期間も変更している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50.0%	50.0%		児童によって目標や計画にかなり違いがあるため、標準化されたツールを使うのは難しいと感じています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	87.5%	12.5%	職員が考案したプログラムを、月間プログラムに取り入れている。そのための経費も職員が考えて使えるようになっている。担当は決まっているが、職員全員で案を出し、支援がしっかりできるように工夫できている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100.0%	0.0%	児童からの要望も取り入れるようにしている。毎月新しいプログラム案を出していき、児童目線でやりたいと思えるもの、濃く支援ができるものから優先して反映している。新しいプログラムも随時取り入れ、プログラム内容も参加児童に合わせて変えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100.0%	0.0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	集団が苦手な子どももいる為、個別対応もしっかりできている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	毎朝ミーティングを行っている 毎日朝のミーティングは必ず行なっている 朝のミーティングでは、1日のプログラムを確認し、理念に基づいてどう動いたか、動いた結果などを話し合っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	50.0%	50.0%	時間の都合上、毎日その日に振り返るのは難しい。ただ、翌日のミーティングでは話し合っている。 特に気になることがある場合は共有し、記録に残している。 当日に振り返りが出来なかった分については、翌日に振り返りを行っている 支援終了後に支援の振り返りや、気付いた点を共有して、次の日の朝に打ち合わせをしてから支援に取り組んでいる	時間を工夫し、振り返りは必ず行うようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	Hugシステムを利用したり、個々で気になる点は常に記録をとっている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%			

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	62.5%	37.5%		今後、ガイドラインについての認識も深めていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%	最近は特に担当が関わる機会が増えている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	87.5%	12.5%		毎月の学校の行事予定をいただき、プログラム作成に役立っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	25.0%	75.0%	まだ、そういった子はいない。 医療的ケアが必要な児童の利用は現在ありません。 現在医療的ケアを必要とする児童が所属していない。今後必要になれば、関係機関との連絡体制を検討する。 医療的ケアが必要な子供がいない為できていない	主治医がいらっしゃる場合は連絡先なども提供していただいている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	37.5%	62.5%	中学生からの利用なので、基本的には就学前の情報は保護者からの情報提供にとどまっている。今後必要性が認められれば、就学前の利用施設との連携も視野に入れている。 以前利用していた放デイや現在も利用している放デイとは連携を取っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	87.5%	12.5%	卒業後、進路先に児童の様子を見学に行っている。 具体的に何かをした記憶がありません。 希望に応じて進路先への訪問を行っている。また、学校や事業所への訪問も、自粛前までは行っていた。	児童には、次の進路先のためのトリセツを作ってもらい、進路先の事業所に提出するようにしています。 今年度はコロナの関係で、事前ではなく、移行後にすべての事業所を回り、情報を共有させていただきました。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	71.4%	28.6%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0.0%	100.0%	現在、外部との交流はできていない。 今は交流する機会はあまりないが、今後そういう場を作っていきたいと考えている	できていない。今後、計画していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	25.0%	75.0%	参加したことはあるが、積極的ではない。	今後、参加していきたい。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	気になることがあれば、すぐに連絡している。 毎日保護者に状況を伝えている。 特に気になることがある場合は電話などでも伝え、共通理解に徹している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50.0%	50.0%	保護者会の時に、専門家の方に来ていただき、話し合う機会を作っている。 保護者会を定期的に関き、交流を進めている。今後保護者向けの教室も検討している。 定期的に関催している保護者会に講師を招いて講座を行っている。	より気軽に集まっていただけ「親の会」を開催していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100.0%	0.0%	年に2回保護者会を開いていますが、今年はコロナの関係で不定期になっています。 定期的に関保護者会を開催している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	月一回通信を発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	文面では理解が難しい場合、直接話をする機会を設けている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	12.5%	87.5%		できていない。今後、計画していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	75.0%	25.0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	75.0%	25.0%	虐待防止研修を受けた記憶がありません。	虐待についての話をミーティングではあったが、ちゃんとした研修の時間が確保できていなかった。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	62.5%	37.5%	現在身体拘束を必要とする児童は所属していない。今後必要性が認められれば実施する。 どのような場合に身体拘束を行うかは共有している。計画に書く必要のある児童は利用していない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	37.5%	62.5%	医師の指示書が必要な児童が今はいません。 食物アレルギーを持つ子どもがほとんどいなく、軽いアレルギーなども保護者等個々の判断に任せている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	87.5%	12.5%		周知を徹底します。